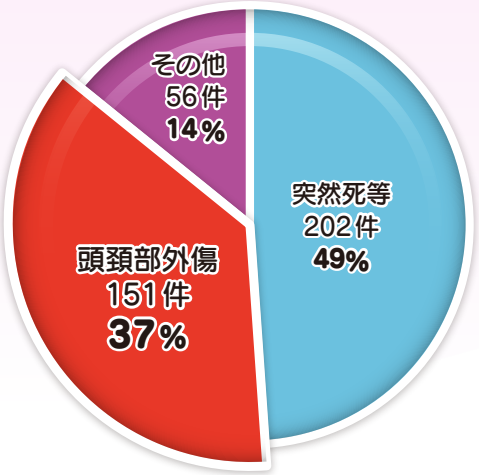
防ぎたい!! 頭頸部外傷!!!

令和２年12月号

中学校・高等学校等向け

体育活動中の死亡・重障害事故発生件数





※　平成17年から平成30年までに中学校･高等学校等で発生した死亡･重障害事故。

※　「その他」は熱中症・溺水等を含む。

頭頸部外傷は死亡・重障害事例（409件）のうち約４割（151件）を占めています。

命にかかわるもの、命を取り留めても後遺症を残すものが多く、頭頸部外傷の予防と適切な対処の方法について理解することが重要です。



頭頸部外傷による死亡・重障害の事故は特に柔道、ラグビー、水泳で多く発生しています。

柔道　障害事例

部活動中、柔道の乱取りの練習で受身のとき背中から倒れ、畳に後頭部をぶつけ倒れた。その後休憩していたところ前のめりになり倒れ意識を失った。（中１　女子）

ラグビー　死亡事例

ラグビー部の合宿中、前日にタックル練習中に転倒したが、「大丈夫です」と立ち上がり、休憩を入れながら練習を続けたものの、体調不良を訴えたので練習を中断させた。練習終了後、自分で歩いて宿に帰った。その夜と翌日の朝も体調不良を訴えることもなかった。試合前練習にコンタクト練習を行っている際に、突然意識を失い倒れた。救急車を要請し搬送されたが、約２週間後に死亡した。　（高２　男子）

水泳　障害事例

水泳部活動の開始前に水泳部員数名とプールサイドから飛び込んで遊んでいた。本生徒が両腕を斜め後ろにして飛び込んだ際、プール底に頭頂部を強打した。体の自由がきかなくなり溺れかけたため、他の水泳部員に引き上げられた。
（高１　男子）





参考：平成17～30年度災害共済給付データ、学校の管理下の災害

JAPAN SPORT COUNCIL　日本スポーツ振興センター

学校安全部　https://www.jpnsport.go.jp/anzen/

令和２年12月号

中学校・高等学校等向け

なくそう！頭頸部外傷!!

～重大事故を防ぐために～

体調が悪いときは無理をしない！

発熱や脱水等の体調不良は、集中力や判断力、運動能力等を低下させる原因となり、頭頸部外傷の危険を高めます。

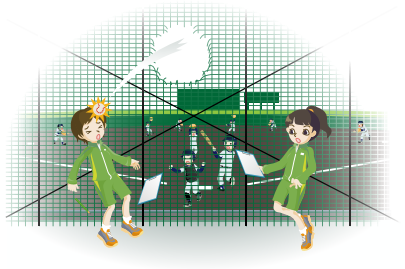
- ☑ 活動前・活動中は自分や友人の体調の変化に気を配りましょう。
- ☑ 体調が悪い、疲れているなどの時は、先生や指導者に伝えて運動を中止し、様子を見ましょう。
- ☑ 気候に応じて、無理のない範囲で練習を行いましょう。



施設・設備は正しく使用する！

頭頸部外傷の事故事例には、人との接触だけでなく、施設・設備・用具等との衝突でも起きています。

- ☑ 用具は正しく設置・使用し、活動スペースを十分に取りましょう。
- ☑ 施設・設備・用具に不具合があった場合は、指導者に報告しましょう。



頭を強く打った後は慎重に！

繰り返して頭部に衝撃を受けると、重大な脳損傷が起こることがあります。

- ☑ 頭を打った後の、スポーツへの復帰は慎重にし、必要に応じて脳神経外科専門医の判断を参考にしましょう。



参考：スポーツ事故防止ハンドブック［令和２年度改訂版（令和３年３月発行予定）］、体育活動における頭頸部外傷の傾向と事故防止の留意点　調査研究報告書

JAPAN SPORT COUNCIL
日本スポーツ振興センター
学校安全部　https://www.jpnsport.go.jp/anzen/